

CVP VXML サーバ Badfetch エラーを解決して下さい

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題の要約](#)

[解決策](#)

概要

この資料に Cisco カスタム 音声門脈 (CVP) 音声 XML (VXML) サーバアプリケーション badfetch エラーを解決する方法を記述されています。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Cisco カスタム 音声ポータル (CVP)
- Cisco VXML サーバアプリケーション
- Cisco コール スタジオ
- Cisco Unified Contact Center Enterprise (UCCE)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- CVP サーバ 9.x 以上に
- UCCE 9.x 以上に

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

問題の要約

いくつかのコールは失敗し、VXML アプリケーション アクティビティ ログは badfetch エラーにそれに賦課金を示します。

エラー メッセージ:

VXML アプリケーション アクティビティ ログは「badfetch」エラーを示します。

解決策

考えられる解決策: ルート資料に VoiceXML プロパティ「fetchtimeout」を追加して下さい

1. Unified Call Studio では、望ましいプロジェクトを右クリックし、『Properties』を選択して下さい。
2. 『Call』 をクリックして下さいスタジオ- DOC 設定を定着させて下さい。
3. **VoiceXML** プロパティの下で fetchtimeout を入力し、値の下で望ましいタイムアウトを入力して下さい。たとえば 60 秒のために "60s" を入力して下さい。